

令和元年9月13日

能代市議会議長 渡辺 優子 様

3班 班長 藤田 克美

議会報告会実施報告書

- 1 開催日時 令和元年8月23日（金）午後7時00分～8時10分
- 2 開催会場 鶴形公民館
- 3 参加者数 5人
- 4 出席議員 （班長）藤田 克美 （司会進行者）渡邊 正人
（報告者）菅原 隆文 （記録者）菊地 時子
安井 和則、落合 範良
- 5 報告内容 （1）平成30年度 議会の活動状況
（2）予算、決算等の審議概要
①令和元年度能代市一般会計当初予算について
②平成29年度能代市一般会計決算及び特別会計決算
について
- 6 意見、要望、提言等 別紙のとおり
- 7 その他特記事項（改善点・気付いた点を含む。）
 - ・参加者が少なかった。周知の徹底はどうであったか。
 - ・夜間の開催は、地域によっては参加しにくい可能性あり。

※報告書は班長が開催日から21日以内に議長に提出するものとする。

(1)議会に関する事項

番号	意見、要望、提言等の内容	報告会における対応
1	イオンの問題はどうか。市長からはどのような答弁があったか。	イオングループのディベロッパーの責任者から、建設予定地の地盤改良を行ってきたが沈下が収まっておらず、収束するにはまだ時間を要することから軟弱地盤対策に関する造成工事にかかる期間がはっきりしないため、開店時期については、現段階では明示できない。との報告を受けている。
2	自治会費が払われていないからごみ収集所へごみを捨ててはだめだとか、能代市広報を配布しないだとか、そういう風な圧力的な事を言う自治会長が居るが、そういうことで良いのか。	来年度から行政協力員イコール広報を配布する人、という形のものには解かれる事になりました。まだ方法は決まっていますが、各家々に対しては二ツ井地区のように民間の力を借りるなどして配布する、という事になるようです。ごみを出させない、広報を配らない、という事についてはどのような対応ができるのか、当局に検討する様伝えます。
3	軽トラの移動販売車が来ていますが、そういう方々がこういう風なところにもっと来やすいような方法はないのか。	移動販売車に対しては国の補助がありますが、移動販売車の購入に際して補助が出る、という事です。
4	毎年、全国の先進地へ情報を求めて研修に行っていると思いますが、それをどう議会に反映させているのか。	総務企画委員会では大阪の豊中市と和歌山の海南市に行ってきました。豊中市は十数年前に財政的に厳しくなり、その後財政を立て直してきましたが、これについてどういった取り組みを行ってきたのかを聞いてきました。海南市では今後発生が予測される南海トラフ地震対策について学んできました。自治体の危機意識というものが非常に高いところがあります。これらの視察では例えば能代市ではどういう問題を抱えていて、今後どう解決していけば良いのか、というものを見聞きしてることによって、これらにならぬ既に取り組みをスタートさせているものもあります。他の委員会も同じように能代市にとって問題がある部分を先進地に行って視察し持ち帰り、検討、反映させる、ということが目的です。各党派でもそれぞれ視察に行きますが、目的は能代市の問題点を改善する、というところと同じです。以上を一般質問であったり、各委員会で取り上げるようにしています。

(2) 市当局に関する事項

番号	意見、要望、提言等の内容	報告会における対応
1	学校の統廃合で廃校された後の維持管理にお金がかかる。地元任せでなく全国の例に学んで色々な利活用のアイデアを早急に出し合って。	当局に伝える。
2	私が後期高齢者の該当になりましたが、妻がまだ65歳になっていないため国民健康保険です。このため妻は妻で国民健康保険料が掛かるので以前より負担が増えた気がするのですが。	当局に伝える。
3	鶴形地区の年配の人たちの話で、買い物に行くときは能代に行かずニツ井へ行くと言いました。何故かと聞きますと”いとく”ニツ井店は店舗の前にバス停があるので、行って降りて買い物をして次のバスで帰ってこれる、ということでした。荷物を持って移動するという部分が相当軽減されている。”アクロス”や”テラタ”方面への対策の考えは。	買い物について、桧山のほうではデマンド型タクシーの試験運用を本年度からいくつか実施していこうという話になっております。その状況が良ければ随時広めていこうという事です。例えば自宅の前から組合病院に行きたい、自宅の前からアクロスの”いとく”へ行きたい、”テラタ”へ行きたい、というコースも組めるような形で検討していただいております。

(3) 議会報告に対する質疑
なし